

2012年度大学自己点検・評価結果について

関西学院評価推進委員会

委員長 ルース・M・グルーベル

関西学院大学の2012年度自己点検・評価は、①2013年度に大学基準協会で作る大学評価（大学機関別認証評価）のための自己点検・評価と報告書作成、②設定している目標（2009年度～2013年度）の進捗評価と報告書作成、を行いました。

2011年度までは、評価項目（基準）ごとに、設定した目標の進捗評価、現状の説明、自己点検・評価、将来に向けた発展方策、という内容で毎年自己点検・評価を行って来ましたが、2012年度は大学評価（大学機関別認証評価）のための自己点検・評価ならびに報告書作成を行う必要から、毎年の自己点検・評価は簡素化し、目標の進捗評価のみとしました。そして、5月下旬から両活動を同時にスタートさせました。

その結果、本日、大学基準協会へ提出する大学評価のための報告書である「関西学院大学 2012年度自己点検・評価報告書」が、学内における自己点検・評価を統括する評価推進委員会で最終承認されましたのでご報告いたします。本報告書は、大学基準協会に提出するとともに、本学公式Webサイトで公表します。目標の進捗評価結果は、既に2012年7月27日の評価推進委員会で承認を受け、8月1日に関西学院公式Webサイトで公表しておりますので、本日合わせてご報告いたします。

なお、総合支援センターと日本語教育センターは2011年度に新設されましたので、設定した目標の進捗評価だけでなく、現状の説明、自己点検・評価、将来に向けた発展方策、という内容で毎年の自己点検・評価を行い、「進捗状況報告書」を作成しました。結果は、既に2012年7月27日の評価推進委員会で承認を受け、8月1日に関西学院公式Webサイトで公表しております。

関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（PDCAサイクル）を強化するため、認証評価と連動させた自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築しました。そして、大学は2005年度の自己点検・評価報告書により2006年度に大学基準協会による認証評価を受け、「適合」の認定を得ました。2007年度からは学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価（進捗状況報告）を毎年実施し、2009年度には毎年行ってきた自己点検・評価は行なわず、大学基準協会の評価基準などの変更に伴い評価項目を見直すと共に、目標を再検討し新たに目標設定を行ないました。2010年度、2011年度は、変更された新しい評価項目と新たな目標・指標に基づき自己点検・評価を実施しました。

本年度（2012年度）は、前述したように二つの自己点検・評価を行いました。進捗状況が芳しくない目標や認証評価用報告書において浮かび上がってきた効果が上がっている事項、改善すべき事項に真摯に向き合い、これらを伸長、改善するための具体的な計画を実行し、教育研究水準の向上を図ってまいります。

また、認証評価用報告書を毎年の自己点検・評価の蓄積の成果として、日頃の活動を見つめ直し、教育の質向上への努力を今後も積み重ねる所存です。

報告書は本学の公式Webサイトで公表いたしますが、このことが社会に対して本学の活動を報告する、という大学の責任を果たすひとつになることを願っております。

報告書をご覧いただき、お気づきの点などございましたら、ご意見をお寄せ願えれば幸いです。

以上